

## ・道路斜線制限

道路斜線制限は、道路をはさんだ対向建築物の日照、採光、通風、開放感といった環境を確保することを目的としています。道路斜線制限は、建築物の各部分の高さを、敷地の前面道路の幅員によって制限しています。

今回の見直しで、用途指定のない地域における道路斜線制限は具体的に、前面道路の反対側の境界線から敷地側に向かって勾配 1.5 / 1.0 で立ち上がる斜線 (= 道路斜線) によって、建築物の高さを制限します。また、道路斜線は、道路反対側の境界線から基準容積率に応じて定められた距離 (= 適用距離) の範囲内に適用されます。

建築物を道路からセットバックさせた場合には、後退距離の幅だけ、前面道路の境界線を敷地とは反対側に移動させることができます。

### 道路斜線のイメージ

